

令和2年度 第2回南砺市利賀地域山村留学定住推進協議会会議録（要点記録）

日 時 : 令和2年10月16日（金）午後6時～午後7時10分
場 所 : 南砺市役所 利賀市民センター 2階特別会議室
出席者 : 委員13名（うち代理出席1名）（欠席4名）
 アドバイザー4名 事務局4名、傍聴者無し
協議事項 : (1)南砺利賀みらい留学 長期留学について
 (2)短期山村留学事業等について

◎会議録

教育総務課長 :

ただいまより令和2年度第2回南砺市利賀地域山村留学定住推進協議会を開会します。

8月に予定しておりました夏の体験キャンプですが、7月の下旬になって全国的にコロナウイルス感染症が再拡大する事態となり、キャンプに関わる全ての方の安全を第一に考え中止としております。また、同様の理由により秋の体験キャンプも中止としておりますことをご報告いたします。

また、教育委員会では学校PTA関係者及び地元に対する説明会の開催を予定しております。

それでは、開会にあたりまして本協議会会長の野原哲二様よりご挨拶を賜りたいと存じます。

協議会長 :

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

利賀地域におきましては、地域の宝である子供たちのために何ができるか検討を重ね、この山村留学事業に取り組んできました。来年4月からの長期留学生の受け入れにあたり、関係者で一体となって取り組んでいきたいと思っておりますので、皆さんの益々のご協力をお願い致します。

本日が有意義な会議となりますようお願い申し上げます、開催の相手あいさつに代えさせていただきます。

教育総務課長 :

続きまして、公益財団法人育てる会の青木代表理事よりご挨拶を賜りたいと存じます。

育てる会 代表理事 :

利賀地域山村留学協議会委員の皆様、大変お疲れ様です。

いよいよ来年度からは1年間のプログラムが始まります。地域の皆様方、そして学校の先生方の支えの中で来年度を迎えられるということで、非常に喜ばしく思っております。

利賀地域の皆様、学校の先生方には、今後ご指導を賜りますようお願い申し上げます、簡単ではありますが、あいさつに代えさせていただきます。

教育総務課長 :

本日は、お手元にお配りした次第に従いまして進行させていただきます。

ここからの進行は、野原会長をお願いしたいと思います。

協議会長：

それでは次第に沿って進めます。

協議事項の（１）「南砺利賀みらい留学 長期留学」の長期留学生の応募状況及び今年度のスケジュール等について、事務局より説明をお願いします。

- － 資料１及び２について、事務局より説明 －
- － 「南砺利賀みらい留学」の名称について事務局より説明 －

協議会長：

只今、事務局から協議事項（１）について説明がありましたが、何かご質問はございますか。

- － 質問・意見なし －

協議会長：

ご質問がないようでしたら、次に（２）「短期山村留学事業等について」に移ります。冬期体験キャンプの実施（案）及びキャンプ実施に係る判断基準について育てる会ならびに事務局より説明をお願いします。

- － 資料３－１及び３－２について、育てる会より説明 －
- － 資料３－３について事務局より説明 －

協議会長：

今ほど冬期体験キャンプについて説明をいただきました。昨年までのキャンプ体験者が長期留学生の募集につながっているということですので、今年も是非開催して輪を広げていければと思います。来年度以降も夏期、冬期の短期キャンプは実施していくと考えてよろしいでしょうか。

育てる会：

１年間の長期留学だけに絞ってしまうと、事業のすその広がらないと考えておりますので、夏冬のキャンプ、そして週末のキャンプは継続して実施する予定としております。短期キャンプで利賀地域を訪れる子供たちが増えることで、長期留学につながる道筋にもなると考えています。

協議会長：

子供たちを受け入れるホームステイ先は、不安に感じている点が多いと思います。

育てる会と民泊家庭との関わり方や、想定している人員の配置について説明いただけますか。

育てる会：

育てる会では、月に１回程度受入家庭が抱える悩みを共有する場を設けて、指導員が相談にのったり、助言を行ったりするという体制をとっていますし、学校と教育委員会、地域、ホームステイ先との連携をリードする、コーディネートする役割も指導員が担っていきますのでご安心いただけたらと思います。

また、人員の配置については、留学生を10名程度募集しているということで、育てる会では指導員を3名派遣することで南砺市と協議を進めています。

協議会長：

留学生の応募状況のなかで現在、9名から願書が提出されたとの報告がありましたが、小学校、中学校から何かご意見はありますか。

委員A：

小学校においては、受入れにあたり問題はありません。同世代の子が多いことは、子供にとっても大変意義があると考えていますので、引き続き募集をしていただければと思います。

委員B：

中学校においても、生徒数が増えることは歓迎しています。

協議会長：

学校側としては問題ないという認識でよろしいですね。では、ホームステイの受入れ先の方からのご意見もお聞きしたいと思います。

委員C：

利賀の子供たちが少なくなり競争相手がなくなる中で、子供の成長に影響を及ぼすので利賀から出たいという意見を聞いたことがあります。その半面、山村留学が始まるにあたり、子供たちの中には不登校であるとか、問題を抱えた子供たちが来るのではないかという懸念もありましたが、実際に子供たちを受入れてみると、子供たちは非常にたくましくてしっかりしていますし、保護者の方も高い教育理念の中で熱心に子育てをしたいという思いを持っておられます。

そういった点から、留学生の子供たちが利賀の子供たちの刺激になり、今後の教育環境においてとてもいい影響がでるのではないかと思います。学校、育成会、そして一般の方々にも、大きな教育効果があるということを認識してもらったうえで受入れることになれば、この事業は大成功になると思います。

ひとつの教育スタイルとして、利賀の山村留学がモデル的なものになればと思っています。

機会があるごとに、山村留学への理解と意識の広がりにも力を入れていただければありがたいです。

協議会長：

それでは次に(3)「その他」ということで、スターフォレスト利賀改修工事及び事業運営団体について事務局より説明をお願いします。

－ 事務局より説明 －

協議会長：

只今、事務局から協議事項(3)について説明がありましたが、総じて何かご質問はございますか。

委員D：

留学生のホームステイについては月10日程度と聞いていますが、1軒でも多くの受入れ家庭があればいいと思いますし必要だと思います。現在、受入れ家庭は何軒くらい確保されていますか。

商工会利賀村事務所：

現状では8軒から内諾をいただいています。

なお、実施にあたっては、今後、研修会や説明会が必要になりますが、有志を募って先進地視察の機会を設けたいとも考えておりますので、山村留学に関心がある方、受入れに興味がある方にお声がけしてすそのを広げていければと思います。

教育長：

委員の皆さんに確認ですが、「南砺利賀みらい留学」という名称については、ご承認いただいたということでしょうか。

－ 全委員が合意 －

協議会長：

本日は、育てる会の青木代表理事にもお越しいただきました。これまで培ってこられたノウハウがありがたいと思いますので、今後ともご指導をお願いできればと思っております。

また、引き続き利賀地域内への周知、啓発活動を行いまして、地域住民の理解を深めるとともに、山村留学事業が長く続くよう、取り組んでいければと思います。それでは事務局にお返しします。

教育総務課長：

次回の協議会ですが、令和3年の3月頃の開催を予定しております。日程は決まり次第ご案内しますのでよろしくお願い致します。

それでは閉会にあたりまして野原副会長よりご挨拶をいただきます。

協議会副会長：

本日は第2回の協議会ということで、お疲れの中お集まりいただき感謝申し上げます。

9月より第一次募集がなされまして、いよいよ具体的な受入れ人数もできました。

引き続き冬のキャンプ、第二次募集と続いていくわけですので、地域としてお手伝いできればと思っております。

改めまして育てる会、南砺市教育委員会の皆様にご指導賜りますようお願い申し上げまして、閉会のあいさつに代えさせていただきます。本日はありがとうございました。

教育総務課長：

以上をもちまして、令和2年度第1回南砺市利賀地域山村留学定住推進協議会を閉会致します。長時間のご協議、ありがとうございました。

(19時10分閉会)